

令和2年度第2回岩手県企業局経営評価委員会意見・質問・回答要旨

1 令和2年度上半期の取組状況について

(1) 電気事業について

該当頁	御質問	回答
資料1 P1	風力発電所・水力発電所ともドローン活用が有効な点検箇所がほかにも想定できませんが、今後はどのように展開していくことを考えていますか。【濤川委員】	今年度は鉄管ドローンによる内部点検を試行しました。今後は調圧水槽のような堅坑に対応したドローン点検などを試行し実用性について検討する予定です。
資料1 P1	供給電力量は年間559百万 kWh に対して既に425百万 kWh で達成率が76%になっておりますが、年間目標値は修正しないのでしょうか。【濤川委員】	供給電力量の目標達成に向けては、保守管理と計画的な修繕工事により、安定した運転を継続していくことが基本ですが、降水量や風速などにより影響を受けます。今年度は、降水量が平年を上回ったことなどから、水力発電所において、上半期の供給電力量が多くなっています。また、年間目標値は、出水率等の過去の実績を基に設定していることから、修正はしないこととしています。
資料2 P2	鉄管ドローンによる内部検査とは、どのようなものなのか簡単な説明をお願いしたいのと、記載のとおり、結果を検証し、利活用を検討いただきたい。(空中ドローンは想像がつきますが)【松川委員】	鉄管内部に Wi-Fi 環境を構築し、ガイドを装着したドローンがホバリングした状態でゆっくり滑り落ちながら内部を撮影し、損傷等の有無について検査するものです。(参考資料2)

該当頁	御意見	コメント
資料1 P1	容量市場の入札に参加しすべての容量が確定した事は、適正な経営に向け大きな成果と感じます。【濤川委員】	容量市場への参加については、本年10月に、電力広域的運営推進機関（容量市場の運営機関）と容量確保契約を締結したところです。 今後も、契約の確実な履行ができるよう、引き続き適切な維持管理による電力の安定供給に努めていきます。
資料1 P1	ドローンを活用した水圧管内の内部点検を実施した事については、新しい技術の取り組みとして素晴らしいと思います。【濤川委員】	今後は、今回の結果を検証し、導入の可否を検討していきます。

該当頁	御意見	コメント
資料 1 P1	築川発電所及び稲庭高原風力発電所の売電方法：岩手県企業局発エネルギーの地産地消となるよう、検討を進めていただきたい。【松川委員】	固定価格買取制度を適用した FIT 電源は、送配電事業者を通じた供給が原則となっていますが、築川発電所及び稲庭高原風力発電所については、再生可能エネルギーの地産地消や地域経済の活性化などの観点から、供給先の小売電気事業者を特定できる特定卸供給の検討を進めていきます。
資料 2 P1	供給電力量の達成率 123%と、大きく計画を上回る良好な数字が残せておりますので、下半期も供給停止、事故等に気をつけ業務を推進していただきたい。【松川委員】	上半期については、降水量が平年を上回り出力の大きい岩洞第一発電所などの水力発電が好調であったこと等から、供給電力量が計画を上回りました。 下半期についても、引き続き設備の適切な維持管理を行い、供給停止や事故等の未然防止に努めていきます。
資料 2 P1	滝発電所：誤認による供給停止とのことですが、ヒューマンエラー防止の再発防止策の検討をお願いいたします。【松川委員】	滝発電所の供給停止については、発生後速やかに、詳細な事実確認を基に原因分析を行い、ダム情報受信時の対応について職員に再周知を行う等、再発防止策の実施に取り組んでいるところです。

(2) 工業用水道事業について

該当頁	御質問	回答
資料 1 P3	工業用水道事業については耐震化の推進等が目標値として掲げられていませんが、すでに耐震化は完了しているとの理解でよろしいですか。【濤川委員】	工業用水道事業の配管耐震化率については、令和元年度末で 62 パーセントであり、今後は施設の劣化状況や優先度等を総合的に評価しながら、計画的に修繕・改良を進めることとしています。なお、アセットマネジメント計画（平成 29 年度策定）の最終年度である令和 10 年度には 74%となる見込みです。
資料 1 P3	新型コロナウイルスの影響により上半期の実使用水量は減少していますか。【濤川委員】	ユーザー企業の中にも、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業を行うなど稼働状況に影響が生じたユーザーがあると聞いており、実給水量は前年度の上半期と比べて数パーセント減少している状況です。

該当頁	御質問	回答
資料1 P3	大手半導体企業の北上工業団地の立地は新型コロナウイルスの影響は受けない見通しですか。【濤川委員】	IoT、AI といった第4次産業革命技術や5Gの普及拡大のほか、新型コロナウイルス感染症の感染防止策としての在宅勤務の増加などによる関連機器の需要が高まっていることもあり、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、他の産業に比べて限定的と伺っています。
資料2 P8	「ユーザー訪問」について、今後オンラインによる打合せなどの対応は考えていますか。【泉委員】	現時点においては、直接訪問する形で打合せ等を行っていますが、今後、ユーザー企業の意向等を確認しながら、オンラインによる打合せ等について、必要に応じて検討していきます。
資料2 P14	「2 工業用水道事業」「実使用水量」「上半期」が「89.6%」の達成率となっているのは、企業局に原因があるのか、それとも企業側の要因（コロナウイルスの影響による減産など）なのでしょうか。コロナウイルスの影響であれば今後実使用水量の計画の見直しなどは考えておられますか。【泉委員】	企業局では、ユーザー企業の利用を制限する要因は生じていない状況です。ユーザー企業の中には、新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休業を行うなど、稼働状況に影響が生じたユーザーがあると聞いており、そのことも影響しているものと考えています。 なお、上半期の実績等を踏まえ、次年度の計画を検討していきます。

該当頁	御意見	コメント
資料2 P6	2600日以上供給停止を発生させていない：引き続き、職員の皆さまのご尽力による安定供給に期待いたします。【松川委員】	企業局では、施設の高経年化への対応などの課題がある中、良質な工業用水の安定供給に向けて、適切な保守作業や水質管理などに取り組んでいるところです。今後も引き続き、安定供給・安定経営に努めていきます。

(3) 組織力向上と地域貢献について

該当頁	御質問	回答
資料1 P4	局全体の集合教育は、インターネット受講等も実施されていますか。【濤川委員】	局全体の集合研修は、インターネットは使用せず、複数回に分けて開催するなど参加者数の調整や3密を避ける対応を行っているところです。 外部研修についてはインターネットでの受講を行っています。なお、今後においては、局内研修等についても、オンラインの活用を検討していきます。
資料1 P9	「局長と職員との意見交換会」ではどのような意見が提出されましたか。それらに意見に対する今後の対応方針はいかがですか。【泉委員】	他部局からの転入者や新たな業務を担当することとなった職員から、制度の違いによる戸惑いや新たな業務への不安の声が聞かれましたが、職場内での指導・助言もあり、しっかりと業務を行っている状況が見られました。 引き続き、必要な知識等について集合研修や業務の中での指導・助言等を行い、職員の育成に努めていきます。
資料2 P10	「施設見学会」、「植樹活動」について、web ページに掲載されていないのがもったいないと思うのですが、何か理由がありますか。【泉委員】	現在、ホームページのリニューアルを進めており、12月1日より、一部ページの見直しを行っているところです。今後は地域貢献の取組などについても積極的に発信していきます。
資料2 P11	「いわて復興パワー水力プレミアム」の「契約者数は1件」について差し支えなければ、社名を御教え下さい。【泉委員】	「いわて復興パワー水力プレミアム」適用第1号は、ホームページに掲載のとおり株式会社伊藤組（花巻市）です。 (参考資料1)

該当頁	御意見	コメント
資料1 P4	局への新入者集合教育ができない事は、安全衛生教育の徹底や技術の伝承等に大きな障害になっていると存じます。【濤川委員】	安全衛生教育などは本局から各事業所に出向いて研修を行うなど、必要な研修が受講できないことのないよう配慮しながら進めています。 技術継承については、上司や指導担当者などが実際に現場で業務を行いながら指導を行っているところです。

該当頁	御意見	コメント
資料1 P4	水力発電所のCO ₂ フリーの電力を供給する取り組みは、地域貢献につながり素晴らしいと思います。ユーザー側のメリットも見直してより多くの企業が協賛してもらえる仕組みを考えて頂きたいと思います。【濤川委員】	企業局では、「いわて復興パワー水力プレミアム」及び「アマリングリーンでんき」を利用している県内企業等に対して、認証書（表彰楯）を交付する取組を10月からスタートしたところです。利用企業においては、脱炭素化に向けた取組を対外的にPRできるように、企業のイメージアップにつながるものと考えています。 今後においても、小売電気事業者等と連携し、より多くの企業に協賛していただけるよう検討していきます。
資料2 P9	電気主任技術者資格取得：働きながらの資格試験への取り組みは、大変なことと思います。仕事と受験の両立のモチベーションを保つ支援を、検討し行っていただければよろしいと思います。【松川委員】	受験に向けて所属の協力を得ながら業務の一環として、研修会開催や過去問の紹介など年間を通して支援を行っています。 また、第2種電気主任技術者の資格を取得した際は、企業局独自の制度として、昇給の際に配慮しているところです。 引き続き、支援策の検討を行いながら、資格取得を奨励していきます。
資料2 P11	水素利活用：2050年温暖化ガス排出実質ゼロの取り組みとして、水素利活用に注目が集まっています。岩手県との協業等も視野に入れた推進を、検討をいただきたい。【松川委員】	県民計画に掲げる水素利活用に向けて、「再生可能エネルギー由来の水素を多様なエネルギー源の一つとして利活用する取組を通じて、低炭素で持続可能な社会の実現」を目的とした県の水素利活用推進プロジェクトワーキンググループへの参加や財政支援に取り組んでおり、引き続き、関係部局と緊密に連携していきます。

2 その他

- ・ 経営評価委員を務めさせていただき、岩手県企業局が、大変大きく地域貢献に寄与されていることがわかりました。このことを、もっと広く多くの県民の皆さまに知っていただく方策の検討を、引き続きよろしくお願いいたします。【松川委員】
- ・ 書面開催においては、一般的にはなじみのない用語（例えば、ランナ、鉄管ドローンなど）に、簡単な説明があればありがたいです。【松川委員】（参考資料2,3）

・ 電気職の欠員があるとのことでしたが、貴局のお仕事は委員の立場から拝見する限り、学んだことを実地で活かせる魅力ある職場だと思いましたので、インターンシップ受入れや学校での説明会開催などの取り組みにより一層期待いたします。再生可能エネルギーへの取り組み、水中ドローンによる鉄管内部の点検など先進的な課題について学べる機会も多くあり、それに魅力を感じる学生も多いと思いました。【泉委員】

・ 令和2年度上半期は新型コロナウイルスの感染防止という予期せぬ課題が発生した中、電気事業・工業用水事業とも順調に事業展開を行い素晴らしい成果と感じます。

職員の皆様は様々な努力をされたと存じます。

しかしながら、下半期も第3波の到来など終息の気配がなく長期化すれば工業用水事業の使用水量の減少にも影響が出ることが懸念されます。

今後も社会情勢の変化に敏感に対応して安定経営に努められる事を期待しております。【濤川委員】